

研究課題番号	4-1801
研究課題名	特定外来種オオバナミズキンバイの拡大防止策と効果的防除手法の開発
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	田中 周平

1. 委員の指摘及び提言概要

オオバナミズキンバイは、近年大きな問題となっており、環境行政上も喫緊の課題である。ポテンシャルマップ作製により対策をすべき場所を明確にし、効率的な防除技術を確立し、刈り取り後の処理まで含め、科学的手法をもって統合的に実施したところに本研究の価値があると考えます。当初の目的を達成し、社会的なインパクトも大きい。目標を上回る成果が上がったと評価するが、特に、減容化の技術開発は、海外展開して SDG s にも貢献しているという点を高く評価する。外来植物の駆除と活用による琵琶湖周辺域の生態系保全が具体的に達成されることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S